

+++++
「植物と人々の博物館メルマガ」 第7号 2015年10月29日発行
+++++

紅葉が山から下りはじめました。

大阪から秀明自然農法の会の方々5名が視察においでになり、小菅から藤野までの雑穀街道をご案内しました。

道の駅小菅の展示に合わせて、見本園の雑穀類は残しておいたのですが、10月30日に収穫します。

10月19日に播種したオオムギは発芽しました。

聖護院カブの千枚漬は美味しいのですが、高くて心行くまで堪能できませんので、小菅で栽培して、加工してみました。大成功で、真においしく、これで存分にいただきます。

会員および配信を希望される方に公開活動ニュースなどをお送りします。

ご関心のあるご友人に転送などご紹介いただき、信頼の「ロコミ」で広報していただけると嬉しいです。

連絡先は下記メールアドレスです。

1. 日本村塾 Nihonmura College for Environmental Studies

伝統知を学び合うことで、「素のままの美しい暮らし」(Sobibo)を勧める。

参加希望者は木俣にメールください。kibi20kijin@yahoo.co.jp

予定:

1) 自給農耕ゼミ第3回

日時:11月8日(日)、場所:神奈川県相模原市、藤野倶楽部、結びの家。

内容:収穫した雑穀の料理教室。詳細は添付チラシの通り。

連携企画、高橋靖典さんの「暮らしを自分の手に取り戻す」もあります。

2) 民族植物学ゼミ第2回

日時:12月19日(土) 13時から17時まで。

場所:東小金井マロンホール会議室。

読書会:推薦図書:『シャーマンの弟子になった民族植物学者の話』、マーク・プロトキン著、築地書館。

上2200円、下1800円。上巻は木俣、下巻は松浦さんが担当します。

3) 扶桑くにゼミ第3回

日時：2016年2月予定、読書会：推薦図書：『銃・病原菌・鉄』、上1900円、下1900円、

ジャッレド・ダイヤモンド著、草思社、ほか検討中。

ご意見があれば、お知らせください。

2. 展示「雑穀街道」は、内容を少し更新して、藤野でも継続

道の駅小菅では10月30日に展示を終了します。村人からはとても好評で、観光客も見てください。

次は、日時：10月31日～ 場所：相模原市緑区牧野 藤野倶楽部百笑の台所に隣接した結びの家。

内容：雑穀をモチーフにしたテキスタイル、種子とその解説、雑穀街道の現代史「古守豊甫医師らによる長寿村桐原調査から、藤野での雑穀調査」など。

3. 環境学習セミナー ご関心のある方はどなたでも参加歓迎です

1) 第36回環境学習セミナー（詳細は添付チラシ参照）

持続可能な地域社会の再検討～『明日の小菅村を探る』～

過疎高齢化や限界集落など悲観的な用語が世間を飛び交う中で、日本の山村は多くの課題を抱えながらも、素のままの美しい暮らしを、

今に継承してきた。源流の郷（日本小菅村発）、エコミュージアム（フランス発）、トランジション・タウン（イギリス発）、

美しい村連合（フランス発）の4つの代表的事例からその活動経験を学び、地方消滅論を再検討し、これを克服する方策を探る。

現在、人口700人余の小菅村でも、源流の郷やエコミュージアム日本村など、以前から多く村づくりの取組みがなされている。

これらの経験を自ら学び直し、また、他村の経験をともに学ぶためのセミナーにしたい。

日時：2015年11月14日(土)～15日(日)

場所：山梨県小菅村 役場および中央公民館

参加費：資料代など3,000円、懇親会参加費3,000円、体験参加費500円、宿泊（1泊朝食）6,000円

連絡問合先：NPO法人自然文化誌研究会 事務局 黒澤友彦

e-メール npo-inch@wine.plala.or.jp Tel/Fax: 0428-87-0165 携帯 090-3334-5328

主催：NPO法人自然文化誌研究会、エコミュージアム日本村／ミューゼス研究会

共催：NPO法人ECOPLUS、協力：東京学芸大学環境教育研究センター、後援：小菅村、トランジション・ジャパン

4. 雑穀見本園の生育状況など

- 1) 道の駅小菅駐車場わきの雑穀見本園の7種の雑穀は道の駅の展示終了に合わせて、10月30日に収穫します。
- 2) オオムギは10月19日に播種しました。

5. 第9号雑穀特集英文は編集中です。

第10号は2016年3月頃締切で原稿を募集します。
送付先住所を添えて、eメールなどで木俣までお申し込みください。バックナンバーは下記のHP 植物と人々の博物館（ミュージアムグッズ）で読めます。

6) 森とむらの図書室の蔵書、一部引越し

藤野倶楽部の安心農園に藤野分室を置き、原沢文庫を順次移動して、藤野倶楽部、トランジション・タウン藤野／お百姓クラブほかに、日本村塾／自給農耕ゼミに合わせて活用していただきます。この蔵書は、東京学芸大学の故原沢伊世夫教授のご家族から寄贈されました。農林業関係の図書、特に植物病理学、農業教育や日本各地の植物誌が含まれています。藤野倶楽部の桑原敏勝代表のご厚意により、すでに書架はできています。ある映画の撮影で舞台になった部屋だそうです。

小菅の書庫には、木俣文庫を順次移動します。生物学、栽培植物起源学、文化人類学、環境教育、農業林業政策、などが主なものです。

.....
植物と人々の博物館は、山梨県小菅村で行っているエコミュージアム日本村（トランジション小菅）のコア博物館です。

これはNPO 自然文化誌研究会のボランティアな公民館活動プロジェクトで、小菅村と東京学芸大学の社会連携に協力しています。

ご興味のある方が山村の素のままの美しい暮らし sobibo や伝統文化を村人から一緒に学び、継承するプロジェクトに参加してくださると、とてもうれしいです。

自然文化誌研究会が国内外の調査研究によって収集した民具、雑穀標本、図書、雑穀栽培見本園などを山梨県の山村小菅の暮らしと関係づけて展示、整理、解説しています。雑穀栽培講習会、日本村塾3ゼミ（自給農耕、民族植物学、扶桑こく）、環境学習セミナーなども開催しています。

雑穀街道（さあ山村）を、都市から農山村に暮らし向きを求め、鎌倉街道（いざ鎌倉）と反対方向に創ることを提案しています。

現在の日常活動（原則として月曜日か金曜日）

1. 雑穀栽培見本園の管理
2. 民具展示の整理
3. 雑穀標本の整理
4. 農・林学、植物、環境、教育、人類学、およびインド・タイなど海外関係図書の整理、番号付をしています。

館長：木下善晴（小菅村在住）

自然文化誌研究会（東京都）：代表 中込卓男、副代表 中込貴芳、小川泰彦

ミュージーズ研究会（小菅村）：代表 青柳諭、副代表 亀井雄次

事務局：黒澤友彦（小菅村在住） npo-inch@wine.plala.or.jp

研究員塾生：木俣美樹男、西村俊、藤盛礼恵ほか

連絡先：木俣美樹男 kibi20kijin@yahoo.co.jp

ホームページ：植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

生き物の文明への黙示録 <http://www.milletimplic.net/>
